

2018年度 ATP (アートを/で考えるプロジェクト) プロジェクト 活動報告書

教員：小林 昌廣 (代表) 安藤 泰彦

学生 (2年)：箕浦 慧 小寺 諒

学生 (1年)：兼城 宇基 木村 佳 深尾 望 渡部 早稀

アーティストによるゲストレクチャー、戦後沖縄関連、韓国関連の映像視聴を中心にゼミ形式で進める。

1 ゲスト・レクチャー

① ラケーシュ・チョウラシア：インド古典音楽、レクチャーとミニコンサート

ラケーシュ・チョウラシアは、インド国内は勿論、海外の主要音楽フェスティバルにも多数参加しているバンスリー (竹フルート) 奏者。ドゥルジェイ・パウミックもまたソロ奏者としては勿論、名アカンパニーとしてインド古典音楽で絶賛されているタブラ奏者。二人とも世界各地で称賛されている。6月9日、10日での名古屋、松坂での来日公演を前に、レクチャーとミニコンサートを開催。



ゲストによるレクチャーおよびミニコンサート風景

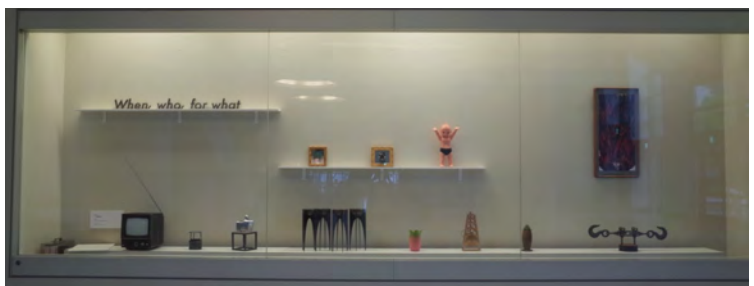
講師：ラケーシュ・チョウラシア：バンスリー (竹フルート)、ドゥルジェイ・パウミック：タブラ)

日時：6月8日 18時30分～20時

場所：センタービル3階 応接室 (和室)

② 廣瀬周士：IAMASショーケース、作品展示「Lifework #4 《○○の間 (ま) 》」について

IAMASショーケース (6月) で作品「Lifework #4 《○○の間 (ま) 》」を展示中の、IAMAS卒業生、廣瀬周士氏に、作品の背景を聞く。道具や置物への眼差し、作品素材の選定と加工などの話、また大仏鑄造の話などにも話が及ぶ。



IAMASショーケース展示風景

講師：廣瀬周士 (美術作家)

日時：6月19日 18時30分～20時

場所：センタービル3階応接室 (C202 和室)

展示概要 (廣瀬)：私たちの日常生活を客観的に考

察しながら、様々な疑問や多義的な解釈を得たいという根本意図をもった表現活動を「Lifework」とし、都度テーマを設けて取り組んでいる。私自身、美術を学んできたという背景を持ちつつも、絵を描くことやモノをつくることで何かを主観的に再現したり、自身の内部にある世界観を外部化しようなどとこの場合は考えていない。そういった既定の分脈から自分を切り離して、自分にとって絵を描くことやモノをつくることは、何かを理解する唯一の方法と考え、《いつ誰が何を何のために作ったか》を想定の上で取り組むことを作法としている。

③ 前林明次：沖縄関連の自作品紹介

2017年に岐阜県美術館開催で開催された「アーティストファイル#5《場所をつくる旅》」展を含め、沖縄をテーマとする自作品の紹介。作品コンセプトなどについて話を聞く。

講師：前林明次（本学教員、サウンドアーティスト）

日時：7月10日 18時30分～20時

場所：センタービル3階応接室（C202 和室）



アーティストファイル#5展示設営風景

④ 塚原真梨佳：映像作品紹介

IAMAS卒業生、塚原真梨佳制作の沖縄・戦後をテーマとする映像作品を視聴、作品背景について話を聞く。

【GrayZone】

<https://www.youtube.com/watch?v=0tCNaTnz3QM>

【Dear flying SHISA】

<https://www.youtube.com/watch?v=PPpkjrEk15U>



レクチャー風景

講師：塚原真梨佳（映像作家）

日時：10月30日 11月6日 18時30分～20時

場所：センタービル3階応接室（C202 和室）

⑤ トークイベント「境界とアート」

「IAMAS2019」修了制作展におけるトークイベント、修士2年アン・セビンとの共同企画。世界の様々な境界とそれらの地域を背景とするアート作品をとりあげ、現代における作品制作について考える。



トークイベント風景

講師：加須屋明子（京都市立芸術大学教授）、西山恒彦（岐阜県美術館学芸員）

日時：2月23日(土) / 14:00 - 15:30

場所：ソフトピアセンタービル、ソピアホール

2 活動報告

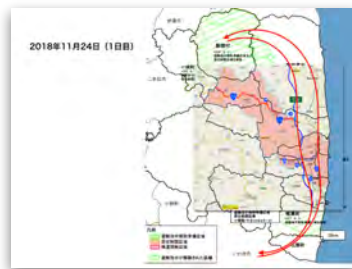
① 学生活動報告 (ATP、1年)

日時：9月25日

② 福島リサーチ報告 (安藤泰彦)

11月24日、25日にかけての福島でのリサーチの報告 (映像および資料)

日時：12月4日



福島帰還困難区域と移動経路

3 映像視聴

【沖縄関連】

- 映画「誰も知らない基地のこと」 (2010) DVD 74分
監督：エンリコ・パレンティ、トーマス・ファツィ 製作：イタリア
- 映画「沖縄列島」 (1969) DVD 1時間30分
監督：東陽一 製作：東プロダクション
- NHK Eテレ日曜美術館「沖縄へのラブレター ～写真家 東松照明～」2014年6月22日放送 (45分)
出演 森山大道 (写真家) 石川真生 (写真家) ほか
- 「太陽の鉛筆 写真集をめくる動画」 (8分)
太陽の鉛筆 東松照明 Shomei Tomatsu The Pencil of the Sun - YouTube
- NHKスペシャル「スクープドキュメント 沖縄と核」
2017年9月10日(日) 午後9時00分～9時49分
<https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2017080831SA000/>
- NHKスペシャル「沖縄戦 全記録」 58分
<https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2015063391SA000/>

【韓国関連】

- NHK アナザーストーリーズ「その時、市民は軍と闘った～韓国の夜明け 光州事件」 60分
2018.6.12 NHKドキュメンタリー <https://www.dailymotion.com/video/x6lppqd>
- 映画「タクシー運転手 約束は海を越えて」2017年 2時間 17分 韓国
- 映画「空と風と星の詩人 ～尹東柱 (ユン・ドンジュ) の生涯～」
2018年 115分 韓国



4 今週の一冊 (小林昌廣)

【2018年度 紹介本一覧】

- 第二百一十一冊 ドナルド・キーン『能・文楽・歌舞伎』講談社学術文庫、2001
第二百一十冊 正岡子規『病床六尺』ワイド版岩波文庫、1993
第二百九冊 本庶佑『ゲノムが語る生命像』講談社ブルーバックス、2013
第二百八冊 中野順哉『うたかた 七代目鶴澤寛治から見た文楽』関西学院大学出版会、2019
第二百七冊 雲田はるこ『昭和元禄落語心中』講談社、2011-2016
第二百六冊 安藤優一郎監修『色街文化と遊女の歴史』カンゼン、2018
第二百五冊 「パッドマン 5億人の女性を救った男」パンフレット、東宝配給、2019
第二百四冊 太田省吾『プロセス』而立書房、2006
第二百三冊 マルクス・ガブリエル『なぜ世界は存在しないのか』講談社メチエ、2013=2018
第二百二冊 池田喬ほか『いま、哲学が始まる。』明治大学出版会、2018
第二百一冊 ジャン＝クレ・マルタン『フェルメールとスピノザ』以文社、2011
第二百冊 小林昌廣『伝統芸能ことはじめ』京都芸術センター、2018
第百九十九冊 佐藤勝彦監修『宇宙には、だれかいますか?』河出書房新社、2017
第百九十八冊 櫛島次郎『もしも宇宙に行くのなら』岩波書店、2018
第百九十七冊 ノーバート・ウィナー『人間機械論』みすず書房、1950/54=1979/2007
第百九十六冊 ボヌイユ+フレソズ『人新世とは何か』青土社、2013=2018
第百九十五冊 向田邦子『父の詫び状』（『向田邦子全集5』所収、文藝春秋、2009）
第百九十四冊 小菅桂子『カレーライス誕生』講談社学術文庫、2013
第百九十三冊 高森直史『海軍カレー伝説』潮書房光人社、2018
第百九十二冊 吉田満『戦艦大和ノ最期』講談社文芸文庫、1994
第百九十一冊 レベッカ・ソルニット『説教したがる男たち』左右社、2015=2018
第百九十冊 ドスタレール+マリヌ『資本主義と死の欲動』藤原書店、2009=2017
第百八十九冊 Jam『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』サンクチュアリ出版、2018
第百八十八冊 ヘルマン『医療人類学』金剛出版、2007=2018
第百八十七冊 田中修二『日本近代彫刻史』国書刊行会、2018
第百八十六冊 遠藤徹『バットマンの死』新評論、2018
第百八十五冊 村上陽一郎『あらためて教養とは』新潮文庫、2009
第百八十四冊 美馬勇作責任編集『女優 山田五十鈴』集英社インターナショナル、2018
第百八十三冊 前川啓治ほか『21世紀の文化人類学』新曜社、2018
第百八十二冊 大森荘蔵『大森荘蔵セレクション』平凡社ライブラリー、2011
第百八十一冊 中島義道『七〇歳の絶望』角川新書、2017
第百八十冊 森有正『生きることと考えること』講談社現代新書、1970
第百七十九冊 フロム『愛するということ』紀伊國屋書店、1956=1959=1991
第百七十八冊 神谷美恵子『生きがいについて』みすず書房、2004
第百七十七冊 新井美樹『色の辞典』雷鳥社、2018
第百七十六冊 鈴木大拙『日本的靈性』角川ソフィア文庫、1944=2010
第百七十五冊 小林秀雄『本居宣長』新潮文庫、1992
第百七十四冊 丸山真男『日本の思想』岩波新書、1961
第百七十三冊 加藤周一『羊の歌』『続・羊の歌』岩波新書、1968
第百七十二冊 M・マクルーハン『メディア論～人間の拡張の諸相』みすず書房、1964=1987
第百七十一冊 ダヤーンandカツ『メディア・イベント』青弓社、1992=1996
第百七十冊 市川浩『精神としての身体』講談社学術文庫、1975=1992
第百六十九冊 石井郁男+ヨシタケシンスケ『はじめての哲学』あすなる書房、2016
第百六十八冊 浅田彰『構造と力』勁草書房、1983
第百六十七冊 新井紀子『A.I. vs. 教科書が読めない子供たち』東洋経済新報社、2018